

平成16年度  
岐阜県高等学校教育課程研究集会  
地歴・公民科

< 実践発表 >

『生徒が動く（生徒を動かす）授業  
の工夫と評価のあり方について』  
～ 地理の楽しさを求めて～

期 日 平成16年8月17日（火）  
～ 18日（水）

会 場 岐阜県立岐阜総合学園高等学校

発表者 岐阜県立中津高等学校  
板 津 裕 也

## 発表の要点

「生徒が動く（生徒を動かす）授業」とは、生徒主体の授業（生徒が参加できる授業）のことを指している。通常授業は、「導入」、「展開」、「まとめ」の三部で構成されるが、生徒が活躍する場面は「導入」「展開」「まとめ」いずれのケースにも組み入れることが可能である。私は授業が成功するかどうかの大きな要因が「導入」にあると考えている。新任の年（私の採用から初任者研修が開始された）に同じ職場の指導教諭（先輩）から、「導入は授業の切り口」であると、指導を受けたことが今でも印象に残っている。授業の生命線とも考えられる導入部において、いかに生徒に興味・関心を持たせ、時には生徒の活躍する場面を設定できないかを実践してみた。また「展開」においても同様の試みを実践してみた。次に「指導と評価の一体化」を目指した評価のあり方についても研究を進めてみた。ところで、私は授業の原点は「分かりやすさ・楽しさ」を伝えることであると認識している。その為に生徒の身近な所に存在する教材の使用と、生徒を動かすことが「授業の楽しさ、分かりやすさ」に直結すると考えている。

### 【1】導入における工夫

#### 実物教材の提示（導入）

実物教材は良く先生方が導入で使用するパターンであるが、私が大切だと考えるのは、実物教材から本日の隠されたテーマを生徒に考えさせ、生徒がテーマを導き出す点にある。また数人の生徒を上手に使うことで授業を進めることも可能である。いくつかの導入事例を提示してみた。

- 例1 袋よりチョコレートを示して、「チョコレートの原料は何か。カカオ豆の生産の多い国はどこか。」モノカルチャー経済、南北問題の授業へ。
- 例2 弁当箱から餃子を示して、「日本に餃子の伝わったのはいつか。餃子の故郷はどこか。」中国地誌の授業へ。
- 例3 自家製ポットよりアイスコーヒーを紙コップに入れ「この飲み物は何か。コーヒー豆の生産が多い国はどこか。」ブラジル地誌の授業へ。
- 例4 袋よりカレーパン、おにぎりを示して、「パン、おにぎりの原料は何か。」小麦、米の二大穀物の授業へ。
- 例5 靴下、ロウソク、マンガ、ビニール袋などを示して「これらは何から作られているか。」石油（エネルギー資源）の授業へ。

#### 音教材の使用（導入）

音教材も導入には効果的である。音楽、特に歌詞から読みとれる地理的現象は授業の展開につなげやすい。『音の地理』（山川出版）が利用しやすい。また『地球の歌』（JVC）も授業に利用できる歌が収録されている。いくつかの導入事例を提示してみた。

- 例1 国家（イスラエル）を聞かせ歌詞の意味を考える。パレスチナ問題へ。
- 例2 アザーン（礼拝の時刻を告げる呼びかけ）を聞いて、これは何を知らせる音楽か。イスラム教（世界の宗教）へ。
- 例3 中津高校の校歌より地理に関する言葉を探す。「雨雲に恵那山」という歌詞より、地形（山地形成）の授業へ。【指導案、別紙参考】
- 例4 「こんにちは」を英語、フランス語、イタリア語、韓国語、中国語などで録音したテープを聞く。世界の言語の授業へ。
- 例5 スリランカ民族紛争、北アイルランド紛争、カシミール紛争を伝えるニュースを聞かせる。民族紛争の授業へ。

#### ロールプレイング形式の授業（導入）

地理の授業でロールプレイング形式を実施するのは困難である。その中で私が開発した数少ない授業例を紹介する。他も考案中である。

- 例1 世界ファッションショーの実施（民族衣装〔チョゴリ、サリー、チャドル

、デール、中国帽子]を着用) 世界の民族の授業へ。

例2 礼拝の実施 イスラム教の授業へ。

例3 ミサの実演 実施したことがないが、そのうち授業に組み入れたい。

例4 太極拳の実演 実施したことがないが、そのうち授業に組み入れたい。

例5 サンバ、フラメンコ、マオリ属の踊り、タヒチアンダンスなどの実演(衣装は着用しない) 実施したことがないがそのうち授業に組み入れたい。踊ることだけでなく、踊りに何の意味があるのかを考えさせたい。

#### V T Rの使用(導入)

視聴覚教材を利用した授業の導入は、視覚に訴える点で特に効果的である。ビデオの一部を編集して導入に利用するが、時間は長くて10分とする。視聴後に、生徒に発問しながら授業の導入とする。いくつかの導入事例を提示してみた。

例1 NHK『人口爆発』より編集 人口時計の画面、人口問題の授業へ。

例2 NHK『中国一人っ子政策を見る』 一人っ子政策の授業へ。

例3 ガンジス川の沐浴の場面 インド地誌の授業へ。

例4 アパルトヘイトの映画『遠い夜明け』より編集 人種問題の授業へ。

例5 民族差別の映画『金の戦争』より編集 韓国地誌の授業へ。

#### D V Dを利用した授業(導入)

パソコンを使用した授業は、教育用コンテンツを利用した授業と組み合わせる展開できるメリットがある。もちろん、V T R同様に生徒の視覚に訴える点で効果がある。私の所有しているD V Dで地理(特に地誌)の授業に使用できるのは『世界の空撮』である。アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカと地域ごとに空から様々な風景が撮影されている。例えば、シリコンヴァレー、リオ・グランデ渓谷、ナイアガラの滝、アマゾン川、テムズ川、ザクセン地方の農村、砂漠の中のオアシス、サバナの風景など。他のD V Dについても探している。

#### パワーポイントを利用した授業(導入)

私は海外に13回(訪問国は、フランス、イタリア、バチカン、スイス、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、スウェーデン、デンマーク、エジプト、シンガポール、中国、韓国、台湾、オーストラリア(オーストラリアはホームステイも経験)、ニュージーランド)、国内は全県を訪問している。その際の写真をパソコンにスキャナで取り入れ、授業の導入・展開などで使用している。

#### 実験形式の授業(導入)

実験形式の授業も生徒を主体的に参加させることが可能であるが、事例は少なく、現在も考案中である。

例1 雨のpHを測定する。 環境問題(酸性雨)の授業へ。

例2 世界の国入れ替え授業 日本とカメルーン(そのとき生徒の興味の持ちそうな国)を入れ替えると、現在の日本の人口で、携帯電話は何人に1人が所有できるのか。自動車は何人に1人が所有できるのか。パソコンは何人に1人が所有できるのか。 世界の食糧需給の授業へ。

#### 手作り教材の授業(導入)

画用紙にマークを書き込み「これは何のマークか」と聞いて、生徒に解答させて授業に入る。いくつかの事例を紹介する。生徒の身近なところにあるマークを利用する。

例1 自動車のシンボルマーク(ベンツ、BMW、ワーゲン、ボルボなど) 自動車工業の授業へ。

例2 コンビニエンスストアのマーク(サークルK、ローソンなど) 消費行動の変化の授業へ。

## 【2】展開における工夫

教育用コンテンツの使用(展開)URL [http://gakuen.gifu-net.ed.jp/~contents/top\\_koukou.htm](http://gakuen.gifu-net.ed.jp/~contents/top_koukou.htm)

教育用コンテンツを使用した授業は、生徒が主体的に授業に参加でき、かつ視聴覚教材の役割も兼ねていて一石二鳥である。岐阜県総合教育センターのホーム

ページ『岐阜県まるごと学園、学習室』中にある。他教科のコンテンツでも利用可能な作品がある。またホームページ上に授業で利用可能なものが存在する。例えば例7の「ナガセ時計」など。

例1 「ジェオ君と学習しよう～世界の気候～」 世界の気候の授業で利用可能である。気候景観、雨温図、ハイサーグラフなどが分かりやすい。

例2 「地形図読解」 地形図読解の授業で利用可能である。特に、沼田の地形図（河岸段丘の土地利用、断面図）、奥多摩山地の地形図（谷線、尾根線）が利用しやすい。教育用素材のコンテンツ（地形3D）と組み合わせると、尾根、谷が理解しやすい。

例3 「世界の民族」 世界の民族を学習するとき利用可能である。私は民族の授業は「世界ファッションショー」を実施し、その後に民族のコンテンツを利用したいと考えている。本物の外国人が母国語を話しておもしろい。

例4 「自動車工業」 エネルギー、鉱産資源の授業で利用可能。鉄鉱石や銅などの写真や分布図が分かりやすい。鉄鉱石から鉄に変化する動画もあり、地名物産の地理になりがちな工業の単元では、メリハリをつけた授業が展開できる。

例5 福祉科のコンテンツ中の「動く人口ピラミッド」 人口問題の授業で利用できる。人口ピラミッドがリアルに変化しておもしろい。

例6 家庭科のコンテンツ中の「バナナが日本に届くまでの動画」は、プランテーション農業の授業で利用可能である。実物教材（バナナ）と組み合わせた授業ができる。

例7 「ナガセ世界時計」のホームページは、時差の授業に利用できる。東京中心の時刻と世界標準時刻に切り替えることが可能で、世界の時刻が一発でわかる。世界の現在の風景が分かるホームページと組み合わせるとより現実的である。 URL <http://www.time.ne.jp/>

生徒教材（展開）

単元ごとに全員レポートを作成させる。今年度は、地形と気候の2種類で生徒が教科書、資料集を参考にして各自でテーマを決定する。その際、具体例を10ほどあげるが（具体例は授業の展開の時使用しやすい事例）、生徒の中には具体例を調べる姿も見受けられた。レポートの左半分、現在のテーマに関する理由と生活との関わりについての仮説を立てさせ、インターネットを通して検証、発見させテーマについての理解を深めさせる。授業で利用できるレポートは教材として生徒に発表させる。地形についての生徒教材を紹介する。

例1 木曽川はどこから来て、どこへ行くのか、どのように人々が利用しているのか。（2年女子）

例2 恵那山はどのようにしてできたのか。（2年男子）

例3 なぜ日本は温泉が多いのか。（2年男子）

例4 鳥取砂丘はどのようにしてできたのか。（2年女子）

例5 東海地震はいつ起こるのか。（2年女子）

プリント学習（作業も含む）

地理の作業は生徒が動く定番である。色鉛筆による着色、統計資料を利用した作業など、完成した図、資料より何が読みとれるかを考えられる作業内容になるようにプリント作成時には心掛けたい。

外部講師による授業

中津高等学校では実施したことがないが、前任校の岩村高等学校では実施したことがある。明智町の大正村をテーマにした授業で、実際大正村の立村に詳しい方を講師に招き、立村の理由、立村までの苦労話、現在の大正村の課題、今後の大正村の展望というテーマで話をしていただいた。本校でもすぐ横を中山道が通っているので、中山道（街道）をテーマにとりあげて外部講師に来ていただく授業を実施したいと考案中である。

【3】評価のあり方について

中津高等学校では、年度当初にシラバスを生徒に配布し評価の説明を実施するが、五教科の評価基準は概ね、定期テスト（課題テストも含む）70%、提出物、授業態度、小テストなど30%となっている。中津高等学校は進学校のため、生徒は進路目的を持ち、授業に向かう姿勢はきわめて良好である。従って定期テスト（課題テスト）以外の30%（提出物、授業態度）（進捗の関係より小テストは実施せず）については原則的には差があまりつかない傾向がある。

定期テスト、課題テスト（夏季、冬季） 70%	提出物 20%	授業態度 10%
---------------------------	------------	-------------

提出物（プリント、レポート）については、提出した場合[A・B・C・D]または[A・B・C]評価をする。前者の評価は、特に地理的技能、地理的な考え方を必要とする提出物を対象とし、その他の提出物は、後者の評価を適用する。

4 段階 評価 の 場 合	
A = 大変良い【3点】 C = 内容が不十分【1点】	B = 概ね良い【2点】 D = 未提出【マイナス2点】
3 段階 評価 の 場 合	
A = 良い【2点】 C = 未提出【マイナス2点】	B = 不十分【1点】

【前期】（4月～7月分のみ）

評価対象	具体的な評価内容	評価方法
レポート1 （地形）	地形レポートの内容が十分に調べられているかどうか。	A・B・C・D評価
プリント1 （世界の大地形）	山地の地形および、世界の大地形の分布・特徴が理解できるか。	A・B・C評価
プリント2 （地震・火山）	地震・火山の分布とプレートとの関係が理解できるか。	A・B・C評価
プリント3 （火山の種類）	火山の種類と形成要因について理解できているか。	A・B・C評価
プリント4 （平野の種類）	平野の種類と形成要因について理解できているか。	A・B・C評価
プリント5 （河川の小地形）	河川が作る小地形の種類と、人々の生活との関連について理解できるか。	A・B・C評価
プリント6 （海岸の小地形）	海岸の小地形の種類と、人々の生活との関連について理解できるか。	A・B・C評価
プリント7 （氷河の地形）	氷河が作る地形の種類と、人々の生活との関連について理解できるか。	A・B・C評価
プリント8 （地下水の地形）	地下水が作る地形の種類と、人々の生活との関連について理解できるか。	A・B・C評価
プリント9 （地形図読解基礎）	地図記号、地名の見つけ方、等高線の描き方の技能が身についているか。	A・B・C評価
プリント10 （尾根線、谷線）	尾根線、谷線、断面図の描き方の技能が身についているか。	A・B・C・D評価
プリント11 （距離、勾配）	地形図上の距離、勾配の求め方の技能が身についているかどうか。	A・B・C・D評価
プリント12 （土地利用）	地形図より土地利用を読解できる技能が身についているかどうか。	A・B・C・D評価
テスト （中間テスト）	地形全般（地形図読解は範囲外）について知識が理解されて定着しているか。	100点満点

レポート2 ( 気 候 )	気候のレポートの内容が十分に調べられているかどうか。	A・B・C・D評価
プリント13 ( 気候要素 )	気候要素、気候因子についての基礎が理解できているか。	A・B・C評価
プリント14 ( 気候区 )	気候景観の読解および、気候区について理解できているか。	A・B・C・D評価
プリント15 ( 雨音図 )	雨温図、ハイサーグラフの読解の技術が身についているか。	A・B・C・D評価
プリント16 ( 気候区の特徴 )	気候区の特徴、仮想大陸図について理解できるか。	A・B・C評価
プリント17 ( 植生と土壌 )	植生と土壌について気候区との関連で理解できるか。	A・B・C・D評価

#### 【4】今後の課題

楽しい地理の授業を目指して、さらに教材の収集に努める。そのためには積極的に地理部会開催の巡検などに参加したり（今年度の県外巡検は、砺波の散村、黒部の扇状地、参加する予定である）、自分でそのような場所を訪問する。  
生徒が動く授業の開発（魅力ある地理教育）に努める。  
インターネット上から、授業に使用できる教材（動画、静止画）を探るように努める。  
生徒による教材を数多く作る。（今年の4月から開始）  
進度との関係で（時間数が少ない）、作業（世界の大地形図、ケッペンの気候区分図など）は宿題に、受験に必要なレベルの知識は長期休みの宿題、週末課題（週末課題は夏休み後より開始予定）で補う必要がある。センター試験に対応できる力がついていないのかも不安である。  
評価のあり方が不十分なのでさらに研究を積み重ねる。

#### 【5】その他

地形の教育用コンテンツを開発して欲しい。地形の授業を実施して強く感じた。教室（学校に1つあれば良い）に、スイッチ1つでパソコン、スクリーンが登場して、数分間でインターネットに接続できる部屋を作って欲しい。

理由1 教室へプロジェクター、パソコン、スクリーンを運び、セッティングするまでの時間（約8分くらい）が無駄である。何回も実践してみた。

理由2 パソコン室でコンテンツを利用して授業を実施したが、生徒は前きに取り組んでいて良かったと思う。しかし全員で授業を進めるという感覚が教室で実施するより希薄な気がしてならなかった。  
教材に費用がかかって困っている。特に民族衣装は高価な買い物であった。

# 単元指導計画

単元の名前 自然環境と生活

<これまでのものから工夫した点>

- 1 単元ごとの評価規準に加えて、「学習活動における具体的評価規準」を明示した。
- 2 「学習活動における具体的評価規準」が、単元の指導と評価の計画（各時間ごとの指導と評価の計画）および学習指導案のどの部分にかかわるかを明示した。
- 3 各評価部分において、目標達成が不十分な生徒などへの「措置」は記述していない。

単元の目標

世界の地形、地形図読解、世界の気候の特色を多面的、多角的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、世界の地形、地形図読解、世界の気候が人々の生活に密着していることに着目させる。また、自らの課題を授業の中でより深く追究・理解することで、地理的な見方・考え方を培い、主体的に国際化社会・情報化社会を生きる生徒を育成する。

単元ごとの評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
世界の地形、地形図読解、世界の気候へ興味・関心をもち、各項目ごとに、自らの課題意識を高め、世界の自然環境に関する多様性や地域性をとらえる視点や方法を身に付けようとする。	世界の地形、地形図読解、世界の気候についての課題を設定し、それらを追究・比較することで、世界の地形、世界の気候を多面的、多角的にとらえる視点や方法、課題を解決できる思考力を身に付けようとする。	地形景観、気候景観の写真、分布図、雨温図、ハイサーグラフ等の資料を活用することで、地理的現象を適切に処理する技能を身につけさせ、考察の過程や結果を関連づけてまとめたり、発表する力を身に付けようとする。	世界の自然環境に関する知識を正しく理解し、比較、関連づけることにより、その多様性や地域性を、人々の生活、文化と結びつけて多面的、多角的にとらえる視点、方法を理解し、それらの知識を身に付けようとする。

各時間ごとの指導と評価の計画（特に記録を残す評価）

1 自然環境と生活 第1節 生活の舞台としての地形			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1 時間 目	・地形景観写真を提示。 ・レポート（地形）のテーマ設定と、自分の予想する仮説の解答を人々の生活と関連づけてまとめてみる。	地形景観の写真を見て、その特徴を読みとる。【技】 地形に関する素朴な疑問をテーマに設定して、その解答の仮説を立てさせる。【思】	クイズ形式による発問。 レポートの提出。（左半分を記入）[A・B・C評価]

1 自然環境と生活 第2節 世界の地形環境			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
2 時間 目	・インターネットを通して、自らのテーマ（地形）について検証させる。また新しい発見についても整理してレポートを完成させる。	前の時間に設定したテーマの仮説に対して、インターネットを利用して、自分の仮説について検証する。【技】 新たな発見などがあたらプリントに書き加え、レポートの右半分を完成させる。	熱心に調べているかどうか。 レポートの提出。（右半分を記入）[A・B・C評価]

3 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津高等学校の校歌を流して、歌詞中「雨雲に恵那山」より、恵那山をテーマにとりあげて、山の形成および山の生成時期について理解させる。</li> </ul>	<p>中津高校の校歌を聞いて、地理に関する語句を発見する。【関】 恵那山に関するレポートを発表する。恵那山の形成等について理解する。【技】【知】 山地の形成の仕方、生成時期について理解する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  他の生徒の発表を聞いているかどうか。 プリントの提出。〔A・B・C評価〕</p>
4 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災頭巾、地震発生時必需品を提示し、中津川市が地震対策強化指定地域に指定されている理由を考えさせる。また生徒教材を利用して地震発生の仕組み、プレートと様々な境界について理解させる。</li> </ul>	<p>防災頭巾、地震発生時の必需品を通して、地震に関する関心をもつ。【関】 地震に関するレポートを発表する。地震が発生する仕組み等を理解する。【技】【知】 プレートと、様々な境界および、地震と人々との生活について理解する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  生徒の発表を聞いているかどうか。 プリントの提出。〔A・B・C評価〕</p>
5 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いい湯だな」を流しながら、温泉マーク、入浴剤、手ぬぐいを提示して、日本に温泉が多い理由を生徒教材を利用して考えさせ、火山活動、火山の種類について理解させる。</li> </ul>	<p>入浴剤などの教材を通して、温泉について関心をもつ。【関】 温泉発生の仕組みについてレポートを発表する。温泉発生の仕組み等を理解する。【技】【知】 火山の分類および、人々の生活との関連について理解する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  他の生徒の発表を聞いているかどうか。 プリントの提出。〔A・B・C評価〕</p>
6 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界全図（掛け地図）より世界の大平野を探させ（代表者、残りの生徒は各自作業）、平野形成の理由および、平野の種類について理解させる。</li> </ul>	<p>生徒（代表者）が世界の大平野をし、平野の存在について関心をもつ。【関】 平野の形成の仕組みと種類について理解する。【思】【知】 平野と人々の生活との関連について理解する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  説明を聞いているかどうか。 プリント提出。〔A・B・C評価〕</p>
7 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川の「川上清水」、ペットボトルの名水（谷川、富士川など）を提示し、川の水はどこから来るのか、川が形成する小地形について理解させる。</li> </ul>	<p>清水（中津川）、名水（ペットボトル）を観察して、川の水に関心をもつ。【関】 木曾川についてのレポートを発表する、川が作る小地形について理解する。【技】【知】 小地形と人々の生活について理解する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  他の生徒の発表を聞いているかどうか。 プリントの提出〔A・B・C評価〕。</p>
8 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取砂丘を事例として取り上げ、生徒教材（日本に砂丘がある謎）を利用して、海岸の地形の種類および形成理由について理解させる。</li> </ul>	<p>鳥取砂丘の写真（自分が写る）を観察して、関心をもつ。【関】 鳥取砂丘についてのレポートを発表する。海岸の地形について理解する。【技】【知】 海岸の地形と人々の生活について理解する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  他の生徒の発表を聞いているかどうか。 プリントの提出〔A・B・C評価〕。</p>
9 時 間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントより、ニュージーランド、ノルウェーのフィヨルド、スイスの氷河、秋吉台、秋芳洞の写真を見せて、氷河、地下水が作る地形について理解させる。</li> </ul>	<p>パソコン教材より、フィヨルド、氷河等に関心をもつ。【関】 氷河が作る地形および、地下水が作る地形について理解する。【思】【知】 人々の生活と関連づけて、プリントを完成する。【思】【知】</p>	<p>授業への参加態度。  説明を聞いているかどうか。  プリントの提出。〔A・B・C評価〕</p>



1 自然環境と生活 第2節の2 地形図読解			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
10 時間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ「地図記号の謎」より、地図記号に関心を持たせ、5万分の1の地形図（中津川）を利用して、地形図の説明、縮尺、等高線の読みとりの技能を習得させる。</li> </ul>	<p>地図記号クイズより、名称と由来を解答し、地図記号に関心をもつ。</p> <p>【関】 中津川の地形図を利用して、地形図の基礎、縮尺、等高線について理解する。【技】【知】 地名探し、地図記号探し、等高線を引く等の作業をする。【技】【知】</p>	<p>授業への参加態度。</p> <p>説明を聞いているかどうか。</p> <p>プリント提出。[ A・B・C評価 ]</p>
11 時間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキー場のマップ、ゴーグル、スキー帽を提示し、教育用コンテンツ「地形図読解」（奥多摩）教育用素材（スイス、ホルン山）を利用して、谷、尾根、谷線、尾根線と等高線の関係、断面図の描き方についての技能を習得させる。</li> </ul>	<p>スキー場のマップから、コースが尾根、谷沿いに設定されていることに関心をもつ。【関】 コンテンツから尾根と谷を立体的に理解する。尾根線、谷線と等高線の関係が読解できる。また断面図の描き方を理解する。【技】【知】 谷線、尾根線、断面図の描き方を身に付ける。【技】【知】</p>	<p>授業への参加態度。</p> <p>パソコンを操作できるかどうか。</p> <p>プリント提出。[ A・B・C・D評価 ]</p>
12 時間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育用コンテンツ「地形図読解」（沼田）を利用して、河岸段丘の読解と土地利用、地形図上の距離、勾配の求め方についての技能を習得させる。</li> </ul>	<p>沼田の河岸段丘の写真を観察して、河岸段丘に関心をもつ。【関】 コンテンツから、河岸段丘の土地利用が読解できる。また距離、勾配の求め方を理解する。【技】【知】 プリントで整理する。【技】【知】</p>	<p>授業への参加態度。</p> <p>パソコンを操作できるかどうか。</p> <p>プリントの提出 [ A・B・C評価 ]</p>
13 時間 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>扇状地、後背湿地の写真を提示して、教育用コンテンツ（比良山地、阿賀野川）の地形図より、土地利用および、人々の生活との関わりについて理解させる。</li> </ul>	<p>扇状地、後背湿地の写真を観察し、扇状地と後背湿地に関心をもつ。</p> <p>【関】 地形図を利用して、扇状地、後背湿地の土地利用を、人々の生活と関連づけて理解する。プリントで整理する。【技】【知】</p>	<p>授業への参加態度。</p> <p>説明を聞いているかどうか。</p> <p>プリントの提出 [ A・B・C評価 ]</p>

1 自然環境と生活 第3節 気候と生活			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
14 時間 目	<p>インターネットを通して、自らのテーマ（気候）について検証させる。また新しい発見についても整理してレポートを完成させる。</p>	<p>宿題で設定したテーマの仮説に対して、インターネットを利用して、自分の仮説について検証する。【技】 新たな発見などがあたらプリントに書き加え、レポートの右半分を完させる。</p>	<p>調べているかどうか。</p> <p>レポートの提出。（右半分を記入）[ A・B・C評価 ]</p>

1 自然環境と生活 第4節 世界の気候			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
15 時 間 目	温度計、うちわを提示しクイズに解答する。生徒教材を利用して、気候要素と気候因子について理解させる。	気候クイズを通して、気候についての関心をもつ。【関】 台風発生理由についてのレポートを発表する。気候要素と気候因子について理解する。【技】【知】	授業への参加態度。  プリントの提出 [ A・B・C 評価 ]
16 時 間 目	教育用コンテンツ(ジェオ君と学習しよう)を利用して、海流とケッペンの気候区について理解させる。	ホームページ上の海流の動き、気候景観に関心をもつ。【関】 気候景観より、気候区の区分(ケッペンの気候区分)について理解する。【技】【知】	授業への参加態度。  プリントの提出 [ A・B・C 評価 ]
17 時 間 目	教育用コンテンツ(ジェオ君と学習しよう)を利用して、雨温図とハイサーグラフの読解技能を習得させる。	岐阜県の雨温図に関心をもち、雨温図を作成する。【関】【技】 ホームページを使用して、雨温図とハイサーグラフの特徴の読解を理解する。【技】【知】	授業への参加態度。  プリントの提出 [ A・B・C 評価 ]
18 時 間 目	教育用コンテンツ(ジェオ君と学習しよう)を利用して、気候区の特徴、仮想大陸図について理解させる。	仮想大陸クイズに挑戦して、関心をもつ。【関】 ホームページを利用して、気候区の特徴について理解する。【思】【知】	授業への参加態度。  プリントの提出 [ A・B・C 評価 ]
19 時 間 目	教育用コンテンツ(ジェオ君と学習しよう)を利用して、世界の植生と土壌について理解させる。	実物教材(土)を観察して、関心をもつ。【関】 ホームページを利用して、世界の植生と土壌について理解する。【技】【知】	授業への参加態度。  プリントの提出 [ A・B・C 評価 ]

1 自然環境と生活 第5節 日本の自然の特徴と人々の生活			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
20 時 間 目	ビデオ教材、生徒教材を利用して、日本の自然の特徴と人々の生活について理解させる。	ビデオ教材を視聴して、地震、火山への関心をもつ。【関】 生徒教材を利用して、日本の自然の特徴と人々の生活について理解する。【技】【知】	授業への参加態度。  プリントの提出 [ A・B・C 評価 ]



# 【仮】学習指導案 <地形コンテンツ使用>

日時	平成16年4月21日(水)第6限	指導クラス	2年A組(男子31、女子9)
教科(科目)	地理B	単元名	世界の地形環境 本時(3時間目/20時間中)
教科書	副教材		
	教材	校歌のテープ、写真(パネル)等	
本時の主題	世界の大地形		
本時の目標	<p>1 校歌という身近な教材から地理的事象についての興味・関心を持ち、山の形成と世界の大地形、人々の生活との関連について理解する。【関】【知】【思】</p> <p>2 恵那山に関するレポートを発表することを通して、仮説および検証、発見を通して自ら追究する学習の方法を身に付ける。【技】</p> <p>3 教育用コンテンツを利用して、山地の地形を立体的に理解する。【知】</p>		
過程	学習項目(指導のねらい)	学習活動 【 評価の観点、 評価方法 】	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津高校の校歌のテープを流して、地理に関する語句を発見する。 [ 雨雲に恵那山たつ、木曾川は行く、その丘(旭が丘)等 ] 恵那高の校歌も紹介。[ 恵那山、木曾川が共通 ]</li> </ul>	<p>校歌という身近な題材に関心をもって取り組み、地理に関する言葉を発見する。 恵那高校の校歌についても同様に発見する。[ 雲に横たう恵那が岳、木曾の水等 ]【関】 発問して解答を求める。(なるべく多く解答させる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きちんと音楽を聴いているかどうか。</li> <li>地理に関する語句を発見できるかどうか。</li> <li>発問に解答できるかどうか。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵那山はいつどのようにして形成されたか。【生徒教材を利用して生徒に発表させる】</li> <li>恵那山は何メートルか。(高い山か低い山か)コンテンツの利用して、ヒマラヤ山脈とアパラチア山脈の写真を比較して気づくことは何か。理由はなぜか。 山の形成のアニメ動画を鑑賞する。</li> <li>コンテンツより、何が分布している地域、地震、火山が多い地域の分布を確認する。</li> <li>新期造山帯と古期造山帯について説明する。</li> </ul>	<p>前時に作成したレポートを発表し、テーマの仮説と検証後の意見が説明できる。【技】 発表の状況観察、レポート内容山地の形成について考察し理解する。【知】 発問して解答を求める。高い山である。2191メートル。 発問して解答を求める。 高くて険しい山、 低くてなだらかな山 動画を通して山の形成について立体的に理解する。【技】 コンテンツを通して山地の分布を考察し理解する。【知】 発問して解答を求める。 地震・火山が多い地域と重複。 新期造山帯と古期造山帯について理解する。【知】 プリントで整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒の発表をきちんと聞いているかどうか。</li> <li>写真を比較できるかどうか。</li> <li>発問に解答できるかどうか。</li> <li>発問に解答できるかどうか。</li> <li>動画を見ているかどうか。</li> <li>分布が理解できるかどうか。</li> <li>発問に解答できるかどうか。</li> <li>プリントで理解できるかどうか。</li> </ul>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震、火山が日本人の生活と関連している点を説明する。</li> <li>次の授業の予告をする。</li> </ul>	<p>人々の生活との関連について理解する。【思】 発問して解答を求める。 現在でも造山活動している。地震、火山が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問に解答できるかどうか。</li> <li>説明をきちんと聞いているか。</li> </ul>

# 学 習 指 導 案

日時	平成16年6月2日(水)第6限	指導クラス	2年A組(男子31、女子9)
教科(科目)	地理B	単元名	世界の地形環境 本時(11時間目/19時間中)
教科書	新詳地理B 最新版(帝国書院) 新詳高等学校地図 最新版 (帝国書院)	副教材	地理資料B 2004(とうほう)
		教材	スキー場マップ、Google等
本時の目標	1 スキー場のマップより、コースが尾根、谷沿いに設定されていることに関心をもたせる。【関】 2 教育用コンテンツを利用して、尾根と谷を立体的に理解し、尾根線、谷線と等高線の関係が読解でき、尾根線、谷線、断面図が描ける方法を身に付けさせる。【技】【知】		
過程	学習項目(指導のねらい)	学 習 活 動 【 評価の観点、 評価方法 】	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキー場マップ、Google、帽子を提示して、コースが谷、尾根沿いに設定されていることに関心を持たせる。</li> </ul>	スキー場マップ(志賀高原、野沢高原)を提示して、コースが、山の尾根や谷沿いに設置されていることを発見する。【関】 発問して解答を求める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問に解答できるかどうか。(谷、尾根という言葉が出るように発問する)</li> </ul>
展 開 4 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾根と谷の説明をする。</li> <li>コンテンツ(「教育用素材」のホームページを開かせ、スイスホルン山の静止画より、谷と尾根を立体的に理解させる。</li> </ul>	尾根と谷の定義を理解する。 【知】 コンテンツのユングフラウ山のページより、谷と尾根を立体的に理解する。【技】【知】 発問して解答を求める。 (代表者による、静止画上で尾根と谷の位置を確認)	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を聞いているかどうか。</li> <li>生徒の発表を聞いているかどうか。</li> <li>説明を聞いているかどうか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ(「地形図読解、奥多摩」)のホームページを開かせ、等高線面図と尾根線、谷線の組み合わせより、等高線との関係について気づくことは何か。</li> </ul>	コンテンツ「奥多摩」の等高線面図上と、尾根線、谷線の関係について理解する。【技】【知】 発問して解答を求める。 尾根線は等高線の低い方へ突き出る。谷線は等高線の高い方へ突き出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問に解答できるかどうか。</li> <li>説明を聞いているかどうか。</li> </ul>
ま と め 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ(奥多摩)の断面図について、地形図よりどのような断面図かを推測させる。その後、クリックして断面図の説明する。</li> <li>プリントで、尾根線、谷線、断面図の描き方を練習する。</li> </ul>	コンテンツより、断面図を読解する方法を理解する。【技】【知】 発問して解答を求める。地形図より、どのような断面図かを描かせてみる。(代表者)  尾根線、谷線、断面図の作業を行う。【技】【知】 プリントで作業をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の発表を聞いているかどうか。</li> <li>説明を聞いているかどうか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日のまとめをする。</li> <li>次回の授業の予告。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師による説明を聞く。【知】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を聞いているかどうか。</li> <li>説明を聞いているかどうか。</li> </ul>